

親子でたのしもう

発刊 柏市私立幼稚園協会

かがやき

柏市
(第87号)

Mar. 3
2014

市内の私立幼稚園が登場！

うちのじ・ま・ん ～幼稚園は楽しいよ～

幼稚園協会の活動等

柏に輝く人々 [第1回]

見直そう野菜の力 [第11回]

地名と歴史 [最終回]

アンケートに答えて
素敵なプレゼントを当てよう！

読者プレゼント



● 柏市ニーズ調査まとまる 知られていない？！幼稚園の預かり保育

毎号、市内の私立幼稚園が登場！

● うちのじ・ま・ん ～幼稚園は楽しいよ～

[今号の登場園]

- 高柳台幼稚園
- くるみ幼稚園
- 南柏幼稚園
- 晴山幼稚園



● 幼稚園協会の活動等

- ・質の高い保育を目指して（教研大会）
- ・食物アレルギーの対応（乳幼懇）
- ・入学準備講演会（保護者連）
- ・議員懇談会、請願（保護者連）



シリーズ

柏に輝く人々 [第1回]
石川倉次 一日本点字の父一

見直そう野菜の力 [第11回]
和食と学校給食 NHK OB 内堀孝雄

地名と歴史 [最終回]
運河という名の駅(その2)



かがやき
(第87号)

平成26(2014)年3月号

小学校就学前児童の多くが幼稚園児

子ども・子育て新制度

柏市ニーズ調査まとまる

知られていない?!
幼稚園の預かり保育

柏市の「ニーズ調査」の結果から、幼稚園の預かり保育が一般に認知されていなかったことは言い難いことがわかりました。幼稚園は、預かり保育や子育て支援事業等を推進していることを、より情報発信することが求められているようです。

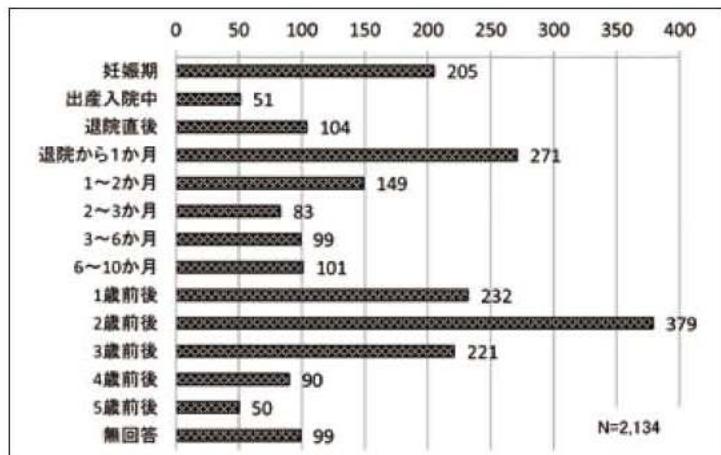


図1 心配や悩みが大きかった(多かった) 時期

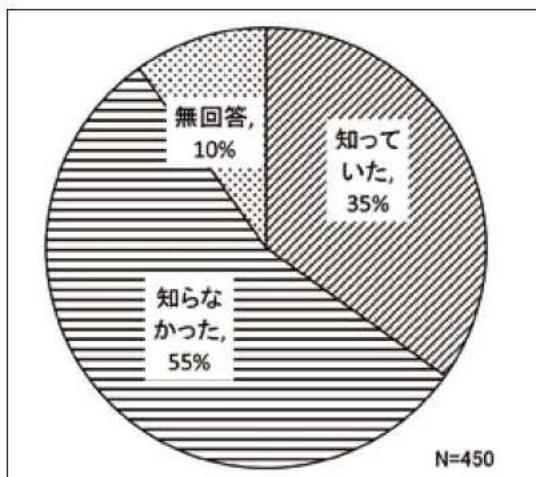


図2 幼稚園の定期的な預かり保育の認知状況

※進育ぶもで、教幼され待会同一機の年見減少・解消策とし近年間ものと子も中

どのに、幼稚園の時間の「預かり保育」の前後や長期休業

どに、幼稚園が選択肢の一つになり得る現況は案外知られないかもしれません。

幼稚園保護者以外の方に「幼稚園の定期的な預かり保育」についての回答結果が図2。「知らないかった」が五割を超えていました。各園の実施している保育時間にもよりますが、両親が就労していてもお子さんが幼稚園に通うことが可能な環境は一般的に整いつつあるのが実態です。共働き家庭は保育園の構成が定着し、幼稚園も選択肢の一つになりますが、案外知られていません。

平成二十七年度から始まる予定の「子ども・子育て新制度」に向けて、市に「子ども・子育て支援事業計画」の策定が求められています。

その基礎資料となる「ニーズ調査」を柏市は昨年十一月に実施、結果がまとまりました。回収率は四六%を超え、関心の高さがうかがわれます。

【結果の中から】

①2歳児はポイント? ②子育てについて心配や悩みが大きかった(多かった) 時期についての回答が図1です。

妊娠・出産という女性のホルモンバランスが乱れる時期や子どもの自我が表れてくる2歳児前後の時期をあげた方が多数でした。

②子育ての楽しさも各層で多数が子育てを「楽しい」と回答。しかし、

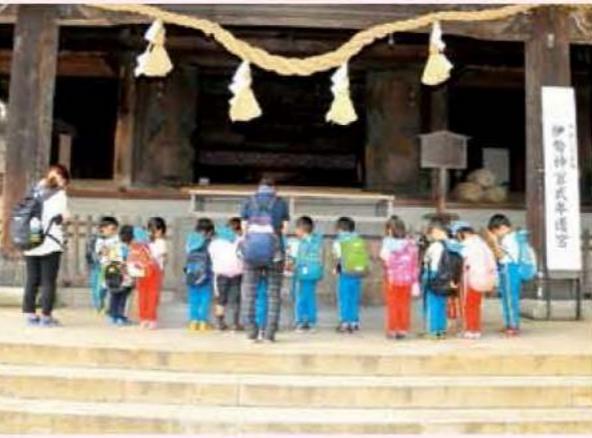
子どもの年齢が高くなるにつれてその比率は低くなる傾向です。

保育量の拡大へ 国の制度議論進む —内閣府子ども・子育て会議—

内閣府に設置された国の「子ども・子育て会議」では、新しい幼保認定こども園の設置基準などの審議を終え、公定価格(保護者の負担と運営助成額の合計)の議論を深めています。子ども・子育て新制度は、①保育量の拡大と②保育の質を高めることを、2つの大きなテーマとしています。保育量の拡大では、多様な保育ニーズに対応する仕組みが確立されます。認定こども園や保育園では、就労が月48時間~64時間の範囲で自治体が定めた時間の就労も「保育を必要とする認定」の対象となります。そのためパート労働者がこれまでよりも保育施設を利用できる機会が拡大することになるでしょう。新制度に移行した幼稚園では、預かり保育に国が現行の保育園と同様な助成制度を適用することが予定されており、保護者にとって費用負担は軽減されることになると考えられます。

高柳台幼稚園

高柳台幼稚園では、夏の暑い日でも冬の寒い日でも、元気いっぱい園庭で遊び日々の園生活を通して、体力づくりを行っています。そして年長組になると、夏のお泊り保育、「筑波山」へ登ります。険しい岩山を子ども達自らの力で最後まで登ります。ただ登山するだけではなく、登山途中、お友達やグループで協力し合って、筑波山の珍しい岩を探すゲームを行ったりもします。女体山の頂上まで登った後更に、男体山の頂上を目指して全員で更にきつい傾斜の岩道を登ります。



南柏幼稚園



南柏幼稚園は本年度創立五十五周年を迎えた。

広々とした園庭にはシンボルツリーのヒマラヤ杉、そしてそれぞれ四季を感じる花の咲く木、実のなる木があり、秋にはざくろや柿を収穫し、園庭でみんなで味わいました。初めて食べることに「うがいいっぱい」と興味津々の子ども達でした。その他今年はピオトープを作り、メダカやエビが泳ぐ様子を見るなど、外に出る楽しみが増えました。

また、年長組の畑活動も復活し、じゅがいも・なす・ピーマン・ミニトマト・さつまいもなどがたくさん野菜を育てました。さつまいもを収穫した後には園庭で大きな釜を使い、さつまいもご飯を炊いてきました。



いて食べました。ほかほかのご飯に大満足の子ども達でした。

今年度は職員の園内研修において「美術教育」を取り組みました。子ども達がさまざまな体験をすることの大切さや環境の大切さなどを学ぶことができました。美術コーナーを充実することで子ども達に大人気!参加も増え創造力豊かに表現しさまざまな力を發揮している子ども達です。

うちの幼稚園 シリーズ~第3回~ じまん



幼稚園は楽しいよ



柏には私立幼稚園が33園あります。

このお泊り保育で最後まで頑張れた事は、子ども達にとって大きな自信へとつながり、二学期からの行事などにも意欲的に参加し、ひとまわりもふたまわりも成長している姿が見られます。又、二学期後半からはマラソン時間として全学年で日々園庭を走ります。

年少組の子ども達も、年中、年長組のお兄さんお姉さんに負けないくらい沢山走り体力づくりを頑張っています。



くるみ幼稚園



晴山幼稚園には約五百平米の畠があり、子ども達は畠仕事に汗を流します。

子ども達の畠仕事は、年中の三月のじゅがいもの種いも植えから始まります。年長になってからじゅがいもの収穫を期待し、年長を具体的に意識します。

年長になると、五月になります。ピーマントマトの夏野菜の苗植えとさつまいもの苗植えを行います。さつまいもは全園児でいも掘りのできる量、千八百本を植えます。かなり本格的な畠になります。そ



の後、水やり、草取りなど作物のせわに汗を流します。収穫したさつまいもは、庭でやきいもにして全園児で食べます。一連の畠仕事を通して、いもや野菜はスーパーにある物ではなく畠で育っている物。それも自然に育るのでではなく汗を流して育てている人がいる、という原体験の一つを体験します。幼稚園は人間としての生活の原体験をする場所なのです。



当園では、十一月初旬に年長児が「くるみ駅伝」を毎年行っています。今年度で十八回目、団地自治会長さんのピストルの合図でスタート。年少・年中児の声援を受けて、一人約三百四十、各チーム十八名で四チームが団地内を計約六km走ります。練習は徐々に距離を伸ばし、一区間の約四倍の距離をジョギングしま

す。コース練習や当日は、保護者が分担して走路に立ち、園児の安全と通行人や車の迷惑にならないようサポートしてくれます。その数、今年は延べ百八十人。年中・年少組保護者は、年長児の保護者が応援を専門できるよう協力しています。「コース練習時から「今年はいつ?」「頑張って」と声をかけられたり、掃除業者の方々が「子ども達が走るから」と事前に走路の落ち葉を掃いてくれたり、老人ホームのお年寄りが手作りの旗を振つてくれたりなど、たくさんの方々の応援をいただきました。また、小学校に散歩でかけて、小学生の持久走練習を見たり、校庭を走つたりした経験は駅伝と就学の双方の意欲につながりました。この行事を通して、活動の場所が広がり、園と保護者、さらに地域の方とのかかわりも増えている、わが園駅伝の行事です。

質の高い保育を目指して

1/22

教育研究大会を開催



来賓をお迎えしての開会式



優しく語りかける大豆生田先生

実践講座・講師



- ①講座1 「感染症」柏市保健所
- ②講座2 「科学あそび」つくばエキスポセンター
- ③講座3 「教具・教材」株式会社ジャクエツ
- ④講座4 「幼児身体・運動機能」幼児体育研究所



柏市乳幼児保健懇親会

ねいに、積極的に子どもにかかわることが大切だ」と話されました。
実践講座は①感染症②科学あそび③教具と教材④幼児の身体運動機能の四講座に、先生方が国協会研究部が中心となって開催しているもので、今回「保育の質を高める」ことを念頭に、講演と実践講座を実施。

せていただいての研修会だけに真剣に取り組みました。
なお、開会では浜田・阿部・中田・加藤の県議会議員をはじめ柏市から鬼澤こども部長・齊藤教育研究所長等がご臨席、激励いただきました。

間の情報共有を欠くことはできません。協力して不幸な事故を起こさない心がけてまいりましょう。

都内小学校児童が食物アレルギーで死亡事故に至つたことは衝撃的でした。これまでも懇話会では幼稚園や保育園の先生を対象にアレルギー研修をしてきましたが、昨年十一月二十一日には、この分野に詳しい椿俊和医師を講師に、対応と留意点について学びました。命にかかることで、保護者と園、園職員

入学準備講演会

アミュゼ柏 1月 24日



小学校入学前の幼稚園保護者を対象に、心掛けるポイントについてお話しいただきました。講師は市教育研究所の金岡幸江先生。保護者が余裕をもつようになると、お子さんも安心します。登下校路など一・二回でも体験しておくといいようです。

柏市幼児教育共同研究
「ひるひる はすむ 柏ひりや」

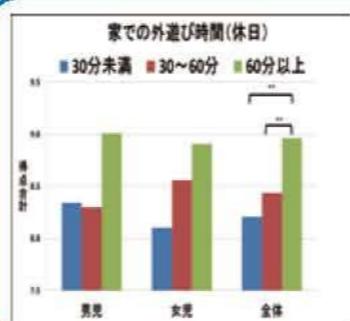
大好きな子どもを育てよう

みんなで運動遊びが好きになるきっかけをつくるために、各幼稚園で環境設定・道具の提供・子どもへの声かけなどを工夫してきました。

今年度の活動報告には、「運動遊びの中からチャレンジする姿が増えた」「保育者の意識が高まり、子どもにも運動が好きという姿が見られた」と嬉しい成果が報告されています。

将来の健康のために、体を動かすことの楽しさを知つてほしい。好きになるきっかけをつくるために、各幼稚園で環境設定・道具の提供・子どもへの声かけなどを工夫してきました。

文部科学省は、幼稚園や保育園向けに幼児期運動指針を定めました。「幼児は様々な遊びを中心毎日計60分以上、楽しく体を動かす」としています。今年度の家庭への調査の中でも左のグラフのような結果が出ています。体を動かすことが大好きで、健康な子になるように、親子で運動遊びを楽しみましょう。



入学準備 ここがポイント!

4・5月

運動会
(春か秋)

授業参観

11月頃

2月頃

3月頃



請願が採択

会派代表(右)へお願ひする会長等

保護者連絡協議会(吉田明香会長)と幼稚園協会は、昨年の十二月市議会に請願書を提出。内容は①幼稚園預かり保育や特別支援教育への助成拡大②発達支援センターの定員増や同種施設の増設③防災公園計画での子どもの遊び場確保などです。田中晋議長から、議会が採択した旨の通知がこの程届きました。

○入学直後の様子を観察

・入学から1週間程度は、どの学校でも集団で下校します。どのあたりまでお迎えに行けばいいか、何時ころ帰ってくるのか、どんな様子か…1年後のお子さんを想像してみましょう。

○就学前児レースに参加

・来年1年生になるお友達が参加できるレースもあります。靴を履いて行きましょう。(日程は、各校HPにてご確認ください。)

○1日授業参観

・6月頃には「1日授業参観」、10月~11月には「〇〇小祭り」等の行事があります。お子さんと一緒に学校の様子を参観してみてはいかがですか。

※事務室で来校目的を伝え、来校者の記名を忘れずに行ってください。

○就学時健康診断

・当日は、5・6年生に引率されて健康診断を受けます。保護者の方も一緒に面接も行います。この時期が1年生への期待感が高まる時! 前向きな声かけで、入学準備を始めましょう。

・9月中旬には、各幼稚園に健診予定が掲示されます。

※特別な理由がある場合に限り、学区外申請ができます。申請場所: 沼南庁舎2階・学校教育課

学校によっては受け入れられない場合もあります。

申請期間等の詳細については、柏市HPや広報かしわをごらんください。

○入学説明会

・入学説明会では、入学後の持ち物についてなど、具体的な説明があります。学校によっては、説明会後に道具箱や算数セットの販売が行われます。

・日程は、就学時健康診断の際に伝えられます。

また、年明けには、各幼稚園でも日程が掲示されます。

※どうしても参加できない場合には、学校へ事前に連絡を入れておきましょう。

○持ち物への記名は早めに

・算数セットには、おはじき1個ずつなど全てに記名します。

○入学式には、『入学通知書』を忘れずに持参しましょう。

笑顔で迎える 小学校入学

4月から
年長児の保護者の方へ

新しい環境になじみ、元気に学校生活を送ることが、一番大切なことです。小学校の登校時刻は幼稚園より一時間程早い八時頃。今から少しずつ、小学校に合わせた「生活リズム」に調節していくましょう。(柏市立教育研究所)

時頃。今から少しずつ、小学校に合わせた「生活リズム」に調節していくましょう。(柏市立教育研究所)

議員懇談会

11月28日 幼稚園保護者と



保護者連絡協議会(吉田明香会長)と幼稚園協会は、昨年の十二月市議会に請願書を提出。内容は①幼稚園預かり保育や特別支援教育への助成拡大②発達支援センターの定員増や同種施設の増設③防災公園計画での子どもの遊び場確保などです。田中晋議長から、議会が採択した旨の通知がこの程届きました。

柏に輝く人々

の逸話を紹介します。

石川倉次 (いしかわくらじ)



郷土「柏」についての新シリーズです。柏市教育委員会の文化課にご協力いただき、題して「柏に輝く人々」を連載いたします。今回が第一回、全五回を予定します。毎回お楽しみに。

石川倉次（いしかわくらじ、一八五九～一九四四）を知っていますか。目の見えない人が伸びて「点字」を日本人向けてに完成させた人物です。それまで視覚障害者の多くは教育を受ける機会も少なく、就ける職業も限られていました。試行錯誤を繰り返し、苦労の末に日本点字を完成させた石川倉次。「日本点字の父」と称される偉人の若き日

の逸話を紹介します。
明治十二年（一八七九）七月
十九日、越野谷村＝現柏市越野
谷＝の医王寺に置かれて間もなく
い越野谷学校＝現手賀西小学校
に、「一人の教師が赴任してき
ました。彼の名前は石川倉次。
六月に千葉師範学校＝現千葉大
学教育学部＝を卒業したばかり
の、教育に情熱を燃やす青年で
した。

倉次は安政八年（一八五九）
浜松藩士の子として城下に生ま
れました。明治維新によって藩
は上総国（かずさのくに）舞鶴
＝千葉県長南町＝に移ることに
なり、一家の台所は苦しくなり
ます。厳しい中で子ども時代を
過ごした倉次ですが、勉強熱心
は生来のもので藩校での成績は
抜群であったといいます。

明治五年（一八七二）、富國
強兵をめざす新政府は近代学校
制度の整備を目的とした「学
制」を定め、国民に教育の義務化
を伝えます。しかし「村に不
学の戸なく、家に不学の者な
らしめんことを…」という「學
制」の理念はあまりにも当時の
村の現実とかけ離れたものでし

た。政府には教育にまわす予算がほとんどなかつたので、学校の建設費から教員の給料、教材費にいたるまで、教育費の大部は村が負担しなければなりませんでした。これは地租改正などで苦しむ農民たちには大変な事態で、暴動を起こす村も出たほどです。

明治六年、千葉県が用意した学校設立資金は、旧印旛県の委託金など二千五百円余、これを県内七百七十五の小学区に振り分けると一校当りわずか三円余です。鷺野谷村でも千葉県からの通達を受け、村人四十七人から資金百十円余、さらに地区の豪農からも寄付金を募りますが学校の資金不足はあまりにも深刻でした。

たる目なれば、また眠るを欲せず、請う諸君」と。内容は寺院などではない専用校舎の建設、教育器具の整備、近隣学校との統合による財源確保などを列記して教育の大切さを切々と訴えています。しかし当時の村人たちにはこれに応える余裕などとなく、倉次はわずか一年で、萬野谷を去っていきました。

その後、官立訓盲哑（くんも）うあ）学院（現視覚障害者特別支援学校）掛専務であった小西新八と運命的な出会いをした倉次は、その才能を見出され、視覚障害者の教育に生涯を捧げることになります。フランス人ルイ・ブライユの創案した点字が、目の見えない人にどうて大変つかなくて困るところに着眼

改良するための研究に没頭したのです。明治二十三年十一月一日、ついに日本語に対応した点字を完成させ、「日本点字の創始者」として、石川倉次の名前は人々の心に刻まれることになります。

【柏市教育委員會文化課】

第1回

育の重要性を認識していくにちがいありません。

教員として契約が切れる直前の明治十三年五月二十五日に、一通の要望書を村に出していく。〔余は本校に眠ることほどを〕
コミニュニティエリア毎にある②分館、主に就学前児及びその保護者を対象とした沼南庁舎内にある

館があります。

幼稚園入園や学校入学記念に利用カードを



柏市立図書館

利用カード 図書館で本を借りるには利用カードが必要で、同カードは市内在住・在学・在勤者及び近隣市在住の方なら作ることができます。その際、免許証・保険証・本人宛の郵便物等住所が確認できる証明書類を提示いただきます。小学生以下の場合は、一緒に来館された同居家族の利用カード、または住所が確認できる証明書類の提示で作ることができます。

和食と学校給食



星珠世先生は柏市学校栄養士になつて23年。名戸ヶ谷、逆井、高田、柏第六などの小学校に勤務。平成20年栄養教諭の資格をとり、現在は柏の葉小学校で活躍している。同校の給食対象者は、児童、教職員合わせて、およそ350名。星先生と9名の調理員が校内の給食施設で活躍している。

星珠世先生は、「家庭的で温かみのある給食を心がけていた」と言う。

「母校、柏一小の給食が大好きで大きくなつたら、ぜひ食べ物の仕事をしたいと思っていた」朝のTVドラマ「ごちそうさん」のヒロインみたいに? 「私たちは大量の食事を限られた時間と予算で作っているので、こだわりに関して言えば妥協しなければならない部分が沢山ある。

安全が一番、食中毒を起こしてはよくない。それからおいしさ、安さ。安く良いものを仕入れて、子ども達が笑顔になるものを作る」

「私(筆者)などは、おでんを作るとセガレに「コンビニの方が旨い」と言われる。

「給食でも言われる。コンビニも冷凍食品業界も企業努力をしての結果だらうが、家庭のものに勝るものはないと思う」

「◎楽しく会食をする◎健康に良い食事のとり方を毎日の食事で知る◎仲良く会食し好ましい人間関係を作る」

「柏の葉小学校の場合、献立づくりにはどんな工夫を?」

「①素材の持ち味を生かす。○薄味にし、加工食品の使用をで

きるだけ避ける。○だしは削り節、ルーやドレッシングも手づくり

ちに、冷たいものは、冷たくし

て提供 ○旬の材料を使用、季

々週1回程度」

星先生は毎月、よていこんだてひようを子ども達に配つてい

る。一月の献立を見ると、七草

ごはん、サンマのかんる煮、じやがいのみそ汁、なます、

いちごがある。材料は血・肉・

骨になる食物、体の調子を整え

る食物、働く力を体温になる食

べ物からなつている。食前、星

先生は、今日の給食について子

ども達に説明しクラスをまわ

る。毎日の献立は生きている教

材だと言う。

「子ども達は残さないか?」

「柏の葉小学校では、多くの子

に勝るものはないと思う」

「子どもの成長をめざす給食の目的は?」

「◎楽しく会食をする◎健康に

良い食事のとり方を毎日の食事

で知る◎仲良く会食し好ましい

人間関係を作る」

「柏の葉小学校の場合、献立

づくりにはどんな工夫を?」

「①素材の持ち味を生かす。○薄味にし、加工食品の使用をで

きるだけ避ける。○だしは削り

節、ルーやドレッシングも手づ

くり

ちに、冷たいものは、冷たくし

て提供 ○旬の材料を使用、季

々週1回程度」

星先生は毎月、よていこんだ

てひようを子ども達に配つてい

る。一月の献立を見ると、七草

ごはん、サンマのかんる煮、じ

やがいのみそ汁、なます、

いちごがある。材料は血・肉・

骨になる食物、体の調子を整え

る食物、働く力を体温になる食

べ物からなつている。食前、星

先生は、今日の給食について子

ども達に説明しクラスをまわ

る。毎日の献立は生きている教

材だと言う。

「子ども達は残さないか?」

「柏の葉小学校では、多くの子

に勝るものはないと思う」

「子どもの成長をめざす給食の目的は?」

「◎楽しく会食をする◎健康に

良い食事のとり方を毎日の食事

で知る◎仲良く会食し好ましい

人間関係を作る」

「柏の葉小学校の場合、献立

づくりにはどんな工夫を?」

「①素材の持ち味を生かす。○薄味にし、加工食品の使用をで

きるだけ避ける。○だしは削り

節、ルーやドレッシングも手づ

くり

ちに、冷たいものは、冷たくし

て提供 ○旬の材料を使用、季

々週1回程度」

星先生は毎月、よていこんだ

てひようを子ども達に配つてい

る。一月の献立を見ると、七草

ごはん、サンマのかんる煮、じ

やがいのみそ汁、なます、

いちごがある。材料は血・肉・

骨になる食物、体の調子を整え

る食物、働く力を体温になる食

べ物からなつている。食前、星

先生は、今日の給食について子

ども達に説明しクラスをまわ

る。毎日の献立は生きている教

材だと言う。

「子ども達は残さないか?」

「柏の葉小学校では、多くの子

に勝るものはないと思う」

「子どもの成長をめざす給食の目的は?」

「◎楽しく会食をする◎健康に

良い食事のとり方を毎日の食事

で知る◎仲良く会食し好ましい

人間関係を作る」

「柏の葉小学校の場合、献立

づくりにはどんな工夫を?」

「①素材の持ち味を生かす。○薄味にし、加工食品の使用をで

きるだけ避ける。○だしは削り

節、ルーやドレッシングも手づ

くり

ちに、冷たいものは、冷たくし

て提供 ○旬の材料を使用、季

々週1回程度」

星先生は毎月、よていこんだ

てひようを子ども達に配つてい

る。一月の献立を見ると、七草

ごはん、サンマのかんる煮、じ

やがいのみそ汁、なます、

いちごがある。材料は血・肉・

骨になる食物、体の調子を整え

る食物、働く力を体温になる食

べ物からなつている。食前、星

先生は、今日の給食について子

ども達に説明しクラスをまわ

る。毎日の献立は生きている教

材だと言う。

「子ども達は残さないか?」

「柏の葉小学校では、多くの子

に勝るものはないと思う」

「子どもの成長をめざす給食の目的は?」

「◎楽しく会食をする◎健康に

良い食事のとり方を毎日の食事

で知る◎仲良く会食し好ましい

人間関係を作る」

「柏の葉小学校の場合、献立

づくりにはどんな工夫を?」

「①素材の持ち味を生かす。○薄味にし、加工食品の使用をで

きるだけ避ける。○だしは削り

節、ルーやドレッシングも手づ

くり

ちに、冷たいものは、冷たくし

て提供 ○旬の材料を使用、季

々週1回程度」

星先生は毎月、よていこんだ

てひようを子ども達に配つてい

る。一月の献立を見ると、七草

ごはん、サンマのかんる煮、じ

やがいのみそ汁、なます、

いちごがある。材料は血・肉・

骨になる食物、体の調子を整え

る食物、働く力を体温になる食

べ物からなつている。食前、星

先生は、今日の給食について子

ども達に説明しクラスをまわ

る。毎日の献立は生きている教

材だと言う。

「子ども達は残さないか?」

「柏の葉小学校では、多くの子

に勝るものはないと思う」

「子どもの成長をめざす給食の目的は?」

「◎楽しく会食をする◎健康に

良い食事のとり方を毎日の食事

で知る◎仲良く会食し好ましい

人間関係を作る」

「柏の葉小学校の場合、献立

づくりにはどんな工夫を?」

「①素材の持ち味を生かす。○薄味にし、加工食品の使用をで

きるだけ避ける。○だしは削り

節、ルーやドレッシングも手づ

くり

ちに、冷たいものは、冷たくし

て提供 ○旬の材料を使用、季

々週1回程度」

星先生は毎月、よていこんだ

</

